

〔科目名〕 開発経済学—貧困(束縛)からの自由を求めて —映画・ビデオをみて“貧しさ”について共に考えてみませんか—				〔単位数〕 2単位		〔科目区分〕 専門科目 展開科目	
〔担当者〕 大場 裕之 Oba Hiroyuki hooba@reitaku-u.ac.jp		〔オフィス・アワー〕 時間:集中講義中、いつでもOK 場所:教室、教員控室		〔授業の方法〕 講義・演習			
〔科目の概要〕 <ul style="list-style-type: none"> この科目では、開発経済学(近代経済学)が前提とする人間観(合理的経済人)・生き方を問い直し、「<u>共創</u>」の視点から、<u>新たな判断軸(共創マインド)を身に着けること</u>を狙いとする。 この目的のために、ビデオ教材(DVD映画など)を用いて、日本や世界を「共創空間」で共に旅をしながら、旅先の人々を見ながら、クエスチョンを探し、共創空間開発技法(略称 CSD)によって、その人たちと向き合い、彼らを「鏡」として日本人や自分の生き方を問い直す。 旅先としては、日本(青森県)や、成長著しい南アジア(インド・ブータン)とする。「自由」、「豊かさ」、「幸福」、「健康」、「飢え渴き」などをキーワードとして、貧しき経済人の生き方を具体的に考える。 <p>この科目で実践する「共創」の旅を通じて、“経済人(の合理性)”の魅力と落とし穴に気づき、共創スキルを身に着け、“共創人”として、日々の生き方の質、人生の質を高めるヒントを掴むことが期待されている。</p>							
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 <ul style="list-style-type: none"> この科目は、経済・経営学や心理学、開発論、モチベーション論、コミュニケーション論、意思決定論、ライフスタイル論などと関連しており、一つの専門分野だけでは、解決できない問題を取り上げる。 学んだことは何に結びつくのか？ <p>① 「共創マインド」を習得することによって、日々の生き方・生活の質を引き上げ、人生の様々な局面における価値判断や意思決定をする時に役に立つ。</p> <p>「共創マインド」を習得した人財として、将来のあらゆる職業(国際機関、国、地方団体、民間企業、NPO機関など)に結びつき、経済開発だけではなく、商品開発、人材開発、地域開発、社会開発、モチベーション開発などのプロフェッショナルとして、また問題発見・問題解決能力を有する<共創>エキスパートとして活躍できる。</p>							
〔科目の到達目標〕4つのポイント <ol style="list-style-type: none"> 経済合理性の視点(1+1=2)を吟味し、「共創的視点」を持つために、CSD技法を実践すること。 「共創空間」でキャッチボールしながら、具体的な問いを発見し、1+1=2 だけではない答えを探究すること。 貧しき経済人の考え方・感じ方を CSD 技法によって、具体的かつ客観的に「見える化」し、どこに問題があるのか、共に発見し、その原因と解決策を明らかにするスキル(価値判断力、問題発見・解決力、コミュニケーション力などコア・ライフ・スキル)を習得すること。具体的には、聴く耳を持つようになること、自己表現力を身につけることができること、他者との協働による“気づき”が可能となること、プレゼンテーション能力およびリポーティング能力を磨くこと。 「共創空間」で共有化された問題を考えることにより、学ぶことの意味や意義が明確となり、自分の生き方と向き合うことによって、<u>生きる意欲</u>が生み出され、自らの日々の意思決定や将来設計に役立つ。 							
〔ディプロマ・ポリシー(DP)との関係〕							
学部				学科			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	
○	○	○	○		○	○	

【学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫】 2025/5/30 提出(昨年24年度一部22年と23年)

(1) 授業評価に関する全体的な印象

評価点が高いこと、また、授業中の真剣な態度とアンケートの設問(全12項目)に対する前向きな回答とが一致していたので、嬉しい限りです。より達成感のある充実した授業を目指すために、以下の4点について、確認し、より明確化し、共有化したいと思います。

- ① 問2(成績評価の基準の明確化)について：最初の授業で明確に基準を提示するので、最初の授業を逃さないように。基本的には、**学習態度と学習成果を評価**する。具体的には、授業で実施する「**共創空間**」での**貢献度(活動成果)と共創りレポートによって評価**する。
- ② 問3(質の高い授業内容)について：質の高さは、新しい知見が得られる達成度の高い授業を目指しているが、昨年度は、想定以上の成果があった。共創空間は開発技法(CSD)を用いて、ひとつのテーマについて、共有化されたクエスチョンから、多様な視点(答え、仮説)を発見する。このプロセスを体験することによって、問題発見・解決力やクリティカル思考力、共感力、自己認知力などのコア・ライフ・スキルを身に着けること、また、ものごとの本質を捉える能力を磨くことに主眼を置いている。
- ③ 問9(学生の質問・相談への配慮)について：集中講義という性格から、短期間なので、授業中もしくは授業開始前や終了後に相談に乗ります。
- ④ 問10(自習時間)について：集中講義なので、**講義を受講するにあたって予習する課題(事前学習)の時間と講義終了後に実施するレポート作成の時間(見込み)を「自習時間」と見做してください。**

(この授業を通じて、開発経済学が前提としている、いわゆる“合理的経済人(人間観)”を問い直し、コア・ライフ・スキルを身に着けることによって、大学生活や就職だけではなく、これからの人生の質を向上するための宝となるはずだ。)

(2) 自由記載欄の学生の意見とそれに対するコメント(➡の部分)

優れた点：

- ★会話が深い
- ★学生が参加できる点➡一つのクエスチョンに対して、参加者一人一人の意見(答え)が尊重される。DEI(Diversity 多様性・Equity 公平性・Inclusion 包括性)が実現される空間で学びが展開します！！
- ★共創空間が初めての体験で面白かった。いろいろな講義に取り入れてもいいと思う。★自分の意見を考え、言語化するという点

問題点：「特になし」

改善の提案や要望：特になし

(参考まで：優れた点 22・23年度)

- ・コミュニケーションが取れる。自分の話したいことを自由に話せる。楽しくできる。➡絶えず言葉のキャッチボールをしながら進行するスタイルなので、リズム感がある授業です！
- ・映画やDVDを見て、そこで注目したキーワードやキーワードをピックアップして、自分の考えや経験を伝えることで、自身の説明力を養うことができた。また他の人の意見を聞くことで、異なる立場の考えも知ることができ、視野が広がった。
- ・共創空間という、自分ひとりでは成し得ない経験が出来、他の人の考えや意見・価値観に触れて自分をより豊かなものにできる点。
- 大学の講義ではなかなか出来ない交流や双方向の意見発信、コミュニケーションがとれる点。
- ・授業内容だけでなく、みんなと楽しくコミュニケーションをとれる時間もあったこと
- ・人間観が養われる授業で、本当に履修してよかったと思う。他の人の意見も聞き入れることで今までなかった発想が出てきて良い意味で刺激を貰える。是非、この授業を受けれるならば受けた方がよいと思う。➡AIでは決してできないスキルを磨けるので、是非体験してみてください！
- ・先生や周りの学生との会話、意見交換を軸にして授業が展開されるので、自分の意見を生み出す力や周囲の考えを理解しようとする思考力が身につくと感じた。
- 経済学で問題にする人間観についてここまで掘り下げる授業はなかなか無いと思う。
- 1日3コマ全5日の日程であったが非常に充実していた。
- ・他者の意見を聞くことで自分の考えや価値観が豊かになる点。自分の考えを人に正確に伝える力が身につく点。➡人生を生きる上で、大切なこと、ホンモノに触れられる場ですので、是非参加されることを熱望します。待っています！！
- ・コミュニケーションが多く、自分の意見を発信したり他人の意見を聞くことが出来、考えをまとめたり広げたりできる時間でした。珍しい授業形式で、ワクワクしながら取り組むことが出来ました。ありがとうございました！

【教科書】(事前に配布予定)

大場裕之＋ライフスタイル研究会[2013]『「共創空間」で地球を旅しよう～ライフスタイルの再発見～』(Working Paper No.56) 麗澤大学経済社会総合研究センター。

【指定図書】

- ・渡辺利夫[2001]『開発経済学入門』東洋経済新報社。
- ・大場裕之＋「共創空間」開発プロジェクトチーム[2015]『共創空間開発学のすすめ—知のイノベーションの新技术』麗澤大学出版会。
- ・大場裕之＋ライフスタイル研究会[2015]『「共創空間」を開発することの学問的意義—「共創空間開発学」の構築を目指して—』(Working Paper No.68) 麗澤大学経済社会総合研究センター。
- ・大場裕之＋大場ゼミナール[2007]『学問力のすすめ—“活きた”学問を楽しむために』麗澤大学出版会。
- ・田中拓男[2006]『開発論—こころの知性』中央大学出版部。
- ・我妻和男編著[2005]『光の国・インド再発見』麗澤大学出版会。

【参考書】授業時に必要に応じ提示

【前提科目】なし

【学修の課題、評価の方法】(テスト、レポート等)

- ・コースプラン、内容などについての詳細は、授業の開始時に担当の教員から指示される。
- ・**事前学習として、配布されたテキストを読んで、印象に残ったこと、疑問に思ったことなどをレポートにすることを課す。**
- ・授業中にディスカッションのために必要となる基本的知識を習得するためのクイズ形式の課題を毎回行う。
- ・共創マトリックス手法を活用した全員参加型の授業を行うため、そのための予習・復習が必要となる。
- ・ディスカッションによって得られた成果やさらなる問題・疑問について、発見メモを作成すること。
- ・この講義を通じて最も関心を持ったことや役に立ったことについて発表するチャンスを用意する。
- ・この講義の最後には、5日間を振り返る総括討論を予定している。
- ・**期末試験は実施せず、達成度(学習成果)を評価する「共創」レポートに置き換える。**

[教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望]	
<p>教員としてこの授業に取り組む姿勢</p> <p>この科目は、開発経済学が前提としている人間モデルを問う新しい試みであるので、現行の学問の専門知識にのめりこまずに、問題を発見すること、関心を持つこと、高めることに主眼を置いている。また、“ラクする楽しみ”ではなく、“共に創造する楽しみ”を共有すること念頭において取り組む。さらに、「共創空間」というスペースの中をタイムマシンの飛行機(?)に乗って、現在の地球だけではなく、過去と近未来の地球を飛び回ることによって、学生諸君一人一人の「よい(良い・善い)生活・人生」探しのためのヒントを提供したいと思っている。</p> <p>・学生への要望</p> <p>対話形式、キャッチボール(ドッチボールではない)スタイルの講義なので、積極的な学生が望まれる。講義の基本方針に基づき、自由に意見を言う場なので、その主旨を十分理解し、各自が責任をもって参加すること。なお、「共創」レポートの書き方については、授業時に説明する。ただ単に知識を鵜呑みにせず、絶えず問うことを大切にしてほしい。また、楽(ラク)する楽しみではなく、“脳ミソに汗をかく”楽しみ方を是非発見してほしい。</p>	
[実務経歴]	
海外産業人材育成協会(AOTS、経済産業省の研修機関)	
2025 授業スケジュール(受講生のニーズに基づいて一部変更する可能性あり)	
<p>DAY 1 (12/20)</p> <p>旅立ち スライヴ 1~3 講 2・3・4 「共創空間」の中で 日本からインドへ旅立つ</p> <p>束縛からの自由を求める希望の旅</p>	<p>テーマ1: 貧しき経済人を問題とする旅ー 開発経済学が前提とする“経済合理的人間”の貧しさとは?</p> <p>内 容: 経済合理的(損得で動く)人間の“貧しさ”を吟味する共創への旅ようこそ! ◎学問力のすすめ 気づいたこと、おやっと思ったこと、「問い」を発見する意欲が欠乏している? この意欲の欠乏こそが、「貧しさ」の正体。従って、意欲だけではなく、様々な欠乏を探す旅となる。 わたしたちは、経済人ですか(自分を経済人と思っただけ)? 好き・嫌い? 経済人としての貧しさ(欠乏): 気づいている、それとも気づいていない? ⇒貧しき経済人とは、「自分は正しい」として、他者軸の欠乏した自己中心的人間。 旅立ち: 関心のある経済人? 音楽好きな経済人? この経済人の「貧しさ」とは何?? ⇒「音楽」が共通ボール。好きな音楽・嫌いな音楽=よい音楽・嫌いな音楽? 「1+1=2?」の発見 ☆公立大学でのキャンパスライフ、楽しんでるか=ラクしているか? 「ラクして楽しむ」合理的な生き方がなぜダメなのか?</p> <p>テーマ2: 貧しき経済人がたどる人類の道とは?</p> <p>内 容: ⇒果たして“経済人”は束縛(貧困)の罫から脱出できるのだろうか? 経済人から「共創人」モデルへシフトし、「共創マインド」を持つことが脱出の糸口。</p> <p>テーマ3: インド映画『きつと、うまくいく』(前半 85 分) を観て、貧しき経済人を探す旅:</p> <p>内 容: インド映画に登場する若い経済人の素顔を知り、関心を持つ=「問い」を発見すること。 <教科書・指定図書: 教員作成のレジュメ・資料による></p>
<p>DAY 2 (12/21)</p> <p>花 4~6 講 2・3・4 インド: 自由から富を求める飛躍の旅</p>	<p>テーマ4: インド映画『きつと、うまくいく』(前半) を観て、自由と富を求める、貧しき経済人を考える旅:</p> <p>内 容: 映画に登場する人物: どのような自由を求めているのか? ラクする自由には“落とし穴”がある? <楽しむ自由にも“落とし穴”がある? ></p> <p>・自分たちに関わる重要な問い(=大学教育)を立て、共創(コクリ)する。問い1: 大学(教育)とは点の取り方を教えるところ? 問い2: 大学(教育)は、人生の競争に勝つためのものか? 大学教育に対する見方において、どの自由を選ぶか? 自由を得ると、人は富を求めるのか? 経済的富: 「おカネがすべて」なのか? 夢を与える仕事とどう関連するのか? ーインド経済人を「鏡」として考えるー 「人生は競争」なのか(欠乏ゆえに)どのような自由を求めているのか? 束縛からの自由、そして、富への自由。 カネがあれば何でも(買うことが)できる? 過去の時間と現在・未来の時間: 今の時間も? いのちや愛も?</p> <p>テーマ5: インド映画『きつと、うまくいく』(後半 85 分) を観て: 富を求める経済人を観察する</p> <p>内 容: 金持ちになりたい? ビジネス(経済的富の追求)は何のためなのか? インドからの答えとは? カネを稼ぐのが目的ではなく、稼いだカネを社会に還元すること(与える)</p> <p>テーマ6: インド映画『きつと、うまくいく』を振りかえって: 富を求める経済人を吟味。</p> <p>内 容: インド映画『きつと、うまくいく』を観て、自分たちに関わる問い(成功者とは)を立て、共創(コクリ)する。問い1: 人生の成功者は登場人物の中にいる? 問い2: 成功者とは金持ちなのか <エクセレント(優秀)な人生? > <教科書・指定図書: 教員作成のレジュメ・資料による></p>
<p>DAY 3 (12/22)</p> <p>自転車 7~9 講 2・3・4 インドからブータンへ: 富から自己満足を求める快楽の旅</p> <p>無関心となる暗闇の旅</p>	<p>テーマ7: インドからブータン: 幸福と自己満足を求める経済人を考える旅: “足るを知る”人間へ</p> <p>内 容: ビデオ教材によって、幸福の国ブータンの経済人の素顔を知る 嵐・幸福の国ブータン、あるいはブータン幸福度調査を観て、共創する。 義務を守れば幸せになれるのか、「幸せ」は一時的なのか(便利になれば、幸せになれるのか) (参考)義務: タバコ禁止(義務)、伝統的民族服の着用の義務、森林保護の義務、建築デザインの規制(義務)など。 仏教的幸福の方程式=財/欲望 ホント? ブータンの幸福感=日本人の幸福感(個人主義的)? ブータンは、自分+他者、現世+来世 御手洗瑞子(みたらい・たまこ)、[2012]『ブータン、これでいいのだ』新潮社。 ・ブータンの幸福観を受け入れられるのか、</p> <p>テーマ8: ブータン幸福度調査に関するビデオをもとにキャッチボール</p> <p>内 容: ブータンの経済人の幸福観を知ること。 心豊かであれば幸せとなるかもしれないが・・・今は幸せですか? 「心の豊かさ」を求めていますか?</p> <p>テーマ9: ブータンの経済人の幸福: 理想と現実は同じなのか?</p> <p>内 容: ブータン幸福度調査の結果をもとに、共創する。 <教科書・指定図書: 教員作成のレジュメ・資料による></p>
<p>DAY 4 (12/23)</p> <p>アダムとエバの誕生 10~12 講 2・3・4 ブータン:</p>	<p>テーマ10: ブータンの経済人から: 「幸せはどこに?」 満足の中に? それとも愛の中に?</p> <p>内 容: 「満足」する意味を考え、幸せとなるか否かという判断基準を明確にする。 (参考) 「満足」する=精神的に満たされ、物質的に足りていること(仮説)。</p> <p>テーマ11: 満足する生き方と「足るを知る」生き方: どちらの道を選ぶか</p> <p>内 容: 満足する生き方の対極にある「足るを知る」生き方を明らかにする。 「足るを知る」生き方を実践すれば、愛欲から解放される? 愛と愛欲の違い。 自分を犠牲にしても愛したい「何か」を持っていますか? 自己愛の対極にある愛。 例えば、鶴のために自分の快適さ(欲望)を犠牲にしてもよいと考えるブータン人のように。</p> <p>テーマ12: 「自己満足すれば、幸福になれるのか?</p> <p>自己満足すると、無関心となるのはなぜ? <教科書・指定図書: 教員作成のレジュメ・資料による></p>

<p>D A Y 5 (12/24) 帰還 川はなゼリ ッチ？ 2・3・4 13～15 講</p> <p>インド・ブ ータンから の帰国 「心の貧し さ」(束縛)と 自我からの 解放の旅</p>	<p>テーマ 13: インド・ブータンからの帰還: 貧しき経済人が人生に求めてきたもの: 自由・富・満足する生き方: その行きつ くところとは、無関心と束縛。では、貧しき経済人は、何を求めて生きればよいのだろうか？ 「病者の祈り」に みる祝福された貧しき経済人にそのヒントがあるのでは。</p> <p>内 容: 経済人は何を求めて生きているのか？ 経済人は、ほんとうの自由、ほんとうの豊かさに出会えるのだから か？ 科学的アプローチと宗教的アプローチを問う: 真理はどこにあるのか？ 真理は体験して知るものでは？</p> <p>テーマ 14: 「カイゼン」と「ジユガード」を実践する (経済人ではなく) 共創人を目指して 内 容: 心貧しき者経済人にとってのよき知らせ。共創空間に秘められた宝を明らかにし、共有化する。</p> <p>テーマ 15: 貧しき経済人をめぐる共創の旅の総括: 内 容: 映画でみる急成長するインド・幸福の国ブータンから、どんなメッセージを得たのか？ 「共創」の視点から、その人間観、特に貧しき経済人の生き方 (way of life, lifestyle) を問題とし、新たな判断 軸(共創マインド): 身についたと思いますか？ 自分の生き方にインパクトがあったのか？ 共創の旅からのプレゼント: 1 + 1 = 9 (の宝) ・「貧しき経済人をめぐる共創レポート」作成にあたっての確認。 <教科書・指定図書: 教員作成のレジュメ・資料による></p>
--	---

試験ではなく、「共創」レポート(「共創空間」を活用した授業の成果をまとめたもの) **提出期限: 2026年1月19日(予定)**